

# 研友社 Annual Review

一般財団法人研友社（以下、研友社）は、運輸に関する技術の進歩発展及び科学技術の振興を図ることを目的として、鉄道及び鉄道技術に関する基礎・先端的分野の調査研究の助成を、公益目的支出計画に基づく「鉄道技術等に関する調査研究の助成事業」として実施しています。

助成対象の調査研究テーマは広く公募しており、有識者からなる「調査研究運営委員会」における審査・選考を経て助成対象テーマが採択されます。

調査研究の成果概要は、研友社が毎年発行する「Annual Review」に掲載し、関係機関に配布するとともに、研友社 URL (<https://www.kenf.jp/annualreview/index.html>) に掲載することにより広く一般に公開します。

さらに、研友社が年 4 回発行する機関誌「研友 (RRPF Journal)」にも順次掲載して参ります。

調査研究の成果報告書は、研友社で所蔵し、研究者及び一般の皆さまの閲覧に供します。また、公益財団法人鉄道総合技術研究所図書館に寄贈します。

## 2023 年度調査研究テーマ

- KR-096 新幹線が駅周辺の人口変動に与える因果効果の統計的推論  
東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授 寺部慎太郎
- KR-097 地方線区の維持と地域の魅力向上のための鉄道と IT の活用  
釧路工業高等専門学校 創造工学科 教授 大屋戸理明
- KR-098 鉄道の高速化と生活空間の構成－高速鉄道の導入方式の効果－  
九州大学 大学院工学研究院 環境社会部門 准教授 大枝良直  
九州大学 大学院工学研究院 環境社会部門 都市・交通工学研究室 久良木隆晴
- KR-099 貨物鉄道ネットワークの途絶が及ぼす経済的インパクトに関する研究  
～全国各地の並行在来線・不採算路線などを対象として  
北海商科大学 大学院商学研究科 教授 相浦宣徳  
株式会社ドーコン 都市・地域事業本部 総合計画部 主任研究員 平出渉
- KR-100 貨客混載による鉄道輸送の手荷役解消及び機械化の推進に関する調査研究  
日本大学 生産工学部 マネジメント工学科 教授 鈴木邦成
- KR-101 貨客混載の実施に対する関係機関の意識調査と物流 2024 年問題への対応方法の検討  
愛媛大学 大学院連合農学研究科 博士課程（高知大学配属） 永田臨
- KR-102 社会的影響力を持つ公共都市空間としての鉄道駅  
立命館大学 産業社会学部 現代社会専攻 准教授 富永京子
- KR-103 人体通信技術による車両内通信システム実現に向けた研究調査  
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授 村松大陸